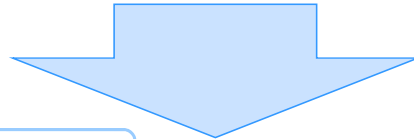


オーストラリアの状況について①

- ✓ 沖縄県では、オーストラリアの協定や国内法等の条文、現地新聞等の情報収集を行い、8月に現地調査を実施
- ✓ 現地では、オーストラリア民間航空安全庁（CASA）や航空法・国際法の専門家、米海兵隊がローテーション配備されるダーウィン市などからヒアリングを実施



オーストラリアの状況

- ✓ オーストラリアでは、バイオセキュリティ法（検疫に関する法）や軍の航空規則などの国内法令を米軍に適用
- ✓ 米軍はローテーション配備の際に、オーストラリアのバイオセキュリティ法に基づいてCH53-Eヘリコプターを20日近くもかけて分解・洗浄し、オーストラリア検疫当局の検査を受検（次頁の米海兵隊HP参照）

1

オーストラリアの状況について②

オーストラリアの状況

- ✓ 空域の管理はオーストラリア民間航空安全庁が行い、軍用の制限空域は、オーストラリア国防省からの申請に基づき設定しており、オーストラリア領空には、横田空域のように外国軍が管理する空域は存在せず
- ✓ ダーウィン豪空軍基地においては、オーストラリア側が米軍を含む軍用機の飛行経路を厳しく規制しているため、住宅地上空の飛行はなく、騒音問題はほとんど発生していないほか、26年もの間、航空機事故は発生していない
- ✓ 国際法の専門家は、特別な取決めがない限り、米軍にもオーストラリア法が適用されることが原則との認識
- ✓ 米軍への国内法の適用や自国による空域の管理などは、ヨーロッパだけではなく、オーストラリアでも同様の状況であることを確認

2

米海兵隊（太平洋） | 2015年3月24日



オーストラリアへの航空機派遣のための海兵隊による作業

2015年3月17日、第101格納庫に2機のCH-53Eスーパースタリオンが鎮座していた。今月下旬に予定されている検査に備えて洗浄中なのだ。

ハワイ基地海兵隊部隊—CH-53Eスーパースタリオンヘリコプター1機の洗浄には1,500時間（人時）かかり、完全な解体、細部までの洗浄、検査そして再組立てには20日近くかかる。海兵隊大型ヘリコプター第463飛行隊の隊員たちはそれを5度もこなしてきた。

この手続は、ダーウィン海兵隊ローテーション部隊への航空機配備時に求められるものだ。オーストラリア検疫所と検査部が、オーストラリア政府の環境要件を満たしているかについて航空機を検査するのである。

環境検査が完了し、CH-53Eがオーストラリアに入れば、組立てと試験に10日から20日かかり、その後航空機を訓練に使用することが承認される。